

# I 港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館・学童クラブ概要

## 1、基本理念及び運営方針

### (1)基本理念

赤坂子ども中高生プラザ青山館(以下、「青山館」という。)は、児童を権利行使の主体として捉え、港区立児童館条例及び子ども中高生プラザ条例(以下、「条例」という。)に基づき、下記の基本理念を掲げ、子どもの権利を擁護し、健やかな成長を願って事業の運営を行っていきます。

- ① のびのび楽しく過ごす心を持ち、ありのままの自分に力があることを自覚し、自主的に活動を進められるように支援します。
- ② じっくりと考える力が育つように働きかけ、仲間とともに協力し、自治を作っていく力を育てます。
- ③ 一人ひとりの違いを認め合いながら、人間として温かな心を育むよう支援します。
- ④ 生き生きと健康な身体を作ることを働きかけ、児童の体力増進のための活動を進めます。
- ⑤ 中高生が心地よく過ごせる居場所となるよう環境を整え、支援するとともに、自主的に文化、芸術、スポーツ活動の向上を図れるよう、活動を進めます。
- ⑥ 地域の乳幼児や小学生と子育て中の保護者が、主体的に、生き生きと安心して過ごせる場を作ります。
- ⑦ 学童クラブの児童が生活の場として安心して過ごし、個々の力を伸ばせるよう働きかけます。
- ⑧ 地域との連携を深め、協力、交流を行うための組織を作り、活動を進めていきます。
- ⑨ 児童に関わる情報収集に努め、発信、提供の場になれるようにします。

### (2)全体の運営方針

- ① 来館者一人ひとりのベスト・インタレスト(最善の利益)を出発点とした運営を行います。
- ② 地域をステージとした多様な活動に参加できるよう、拠点施設としての運営を行います。
- ③ 児童が友情を育み、仲間と集える「居場所」を共に作っていく運営を行います。
- ④ 障害のあるなしに関わらず、だれもが自分らしい選択で活動できるノーマライゼーションの考えに基づく運営を行います。
- ⑤ すべての児童・保護者等が性別にとらわれず、自分らしく豊かに生きることのできるよう男女平等参画の視点から運営を行います。
- ⑥ 子育て中の家庭を支援し、親も成長できるよう、共生の視点から運営を行います。
- ⑦ 赤坂子ども中高生プラザ(本館)との交流を深める運営を行います。
- ⑧ ボランティアの育成に努め、社会参加への機会となる運営を行います。
- ⑨ 利用者の個人情報保護の適正化に取り組むとともに、職員の倫理綱領に基づく行動規範を遵守し、サービスの質の充実を図ります。
- ⑩ 地域に信頼され、親しまれる施設、より一層賑わいのある施設を目指します。

### (3)具体的な方針

- ① 条例に基づき、児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むようにするため、児童館としての役割を果たしつつ、「地域とともに育つ」という視点から、開かれた施設づくりを進めます。
- ② いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように、常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します。
- ③ 乳幼児から18歳未満の児童の心のよりどころとなり、かつ“居場所”として、児童の体力増進、文化・芸術活動の拠点になるよう、企画運営を行っていきます。
- ④ 赤坂子ども中高生プラザとの交流を大切にします。
- ⑤ 令和4年度も、青山館を利用される方々との交流を深めることを念頭においた活動の実現・強化を重点目標として掲げ、活動を行います。

## 2. 利用日時

### (1) 赤坂子ども中高生プラザ青山館

条例等に基づき、次のとおり行いました。

【曜日】 月曜日から日曜日

ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月1～3日は休館。

なお、12月29、30日については、「年末施設開放」として午前9時30分から午後5時までの間、開館(施設開放)

【時間】 午前9時30分から午後8時

(小学生の利用は、ひとりで帰れる時間を考慮し、「午後6時まで」を推奨)

障害児夏季休業日等支援事業による受入れ拡大 午前8時から

※新型コロナウイルス感染症対策のため、各部屋の面積に合わせ、利用定員数を定め、

平日は学童クラブ事業を運営のため、小学生のみ一般利用児童10名の利用枠とし、

予約を受けた利用としました。土曜日・日曜日については、予約利用は行いませんでした。

※港区民は前日から、港区民以外は当日の利用予約申し込みを受け付けました。

### (2) 学童クラブ

港区学童クラブ運営要綱に基づき、利用日及び時間について、次のとおり行いました。

【曜日】 ①月曜日から金曜日

②土曜日

③学校休業期間月曜日から金曜日

④日曜日は休室

【時間】 ①下校時から午後7時

②午前8時から午後5時

③午前8時から午後7時

### (3) 子育てひろば事業

条例等に基づき、次のとおり行いました。

【曜日】 月曜日から日曜日

ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月1～3日は休館。

なお、12月29、30日については、「年末施設開放」として午前9時30分から午後5時までの間、開館(施設開放)

【時間】 午前10時から午後6時(乳幼児室)

※乳幼児室の利用は、新型コロナウイルス感染症対策のため、A・10:00～12:00、

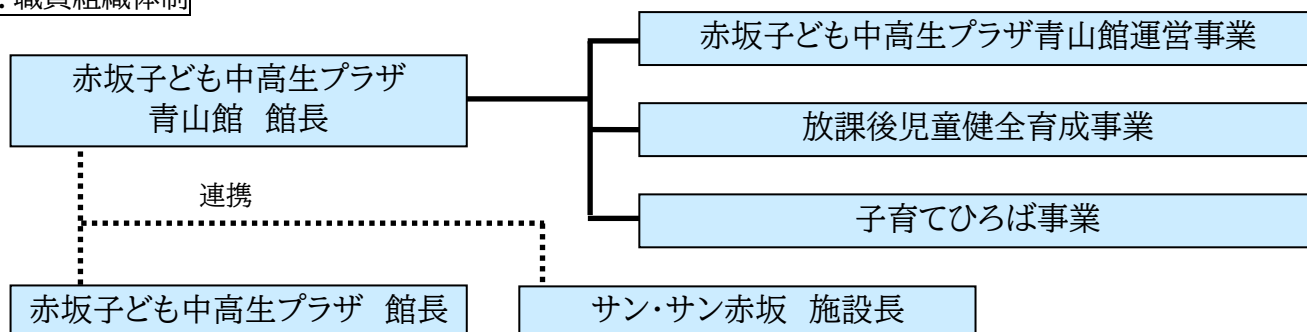
B・13:20～15:20、C・16:00～18:00 の3区分に分け、事前予約および各時間5組

のみの利用としました。

※港区民は前日から、港区民以外は当日の利用予約申し込みを受け付けました。

## Ⅱ 運営管理

### 1. 職員組織体制



### 2. 職員体制

区分	館長	副館長	事務員	児童指導員			その他	合計
				プラザ	学童クラブ	子育て広場		
正規・常勤	1	1		4	4	1		11
非正規	常勤			2	0	1		3
	非常勤		2	9	3	1		15
計	1	1	2	15	7	3		29

### 3. 職員研修

運営方針を具体化し、一人ひとりの利用者のニーズに対応した専門的サービスを提供するため、日常的に職員の資質向上を図る研修を行いました。このため、法人の職員研修計画に基づく研修のほか、他の児童施設とも連携しながら教育研修を行うなど、計画的に人材育成を進めてきました。

#### (1) 施設内研修(本館等との連携研修含)

##### ① 法人主催研修

月	日	内容	講師等	参加者数
5	20	法人新任職員研修	法人事務局	1名
9	13	法人指導職研修	法人事務局	1名
	22	法人指導職研修	法人事務局	1名
10	17	法人管理職研修	法人事務局	2名
	18	関係機関と児童相談所の連携について※	港区児童相談所児童福祉係 菅原 俊 氏	7名
12	2	不審者対応訓練 ※	赤坂警察署職員	13名
1	17	法人人事考課リーダー研修	法人職員	1名
3	22	SNS社会から生徒・児童を守るために 私たちにできること ※	子ども・ケアサポート 熊木景氏	10名

※ 本館職員、放課 GO→あおやま、放課 GO→せいなん職員等参加

## ②他施設見学

月	日	見学施設	参加者数
6	22	川崎市子ども夢パーク	4名
9	16	港区立台場児童館	6名
	28	川崎市子ども夢パーク	6名
2	15	港区子どもふれあいルーム・あっぴい西麻布	11名

## ③現場研修（法人運営児童施設における現場研修）

月	場 所	参加者数
10	港区：赤坂子ども中高生プラザ 北区：八幡山子どもセンター、わくわく田端ひろば、わくわく滝四ひろば、わくわく王三ひろば	10名
11	北区：八幡山子どもセンター、わくわく王三ひろば	2名

## (2)外部研修

下記の機関・団体が主催する研修に職員を派遣し、職員の経験、知識や技術の程度・段階に応じた研修を受講させることにより資質の向上を図るとともに、資格取得などの支援を行いました。

### ①港区主催研修

月	日	内容	講師	参加者数
7	5	ドッジボール審判員講習会 ●	港区児童館職員	3名
	21	デートDV、学校・教育関係者にできること ～気づく、つなぐ、対応のポイント ◆	NPO法人レジリエンス 西山 さつき 氏	1名
9	10	障害のある子どもとグレーゾーンの子どもの支援 ●	矢口特別支援学校 川上 康則 氏	3名
	27	国産材端材の木エクラフト～SDGsを考える～●	港区立エコプラザ職員 西城 明男 氏	2名
12	20	ローラーホッケー審判員研修 ●	東京都ローラースポーツ連盟理事 北 千加枝 氏	1名
1	26	子ども家庭支援センター・児童相談所との連携 ●	子ども家庭支援センター相談支援係 羽賀 裕美 氏 港区児童相談所児童福祉係 菅原 俊 氏	1名
3	2	子どもの権利の視点から児童館活動を捉え直す ●	工学院大学准教授 安部 芳絵 氏	2名

●館長会主催研修 ◆東京ウィメンズプラザ主催研修

②東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課、児童健全育成財団主催研修

月	内 容	参加者数
10	東京都放課後児童支援員認定資格研修（オンライン）	1名
11	東京都放課後児童支援員認定資格研修（オンライン）	1名

③上級救命講習（本館と合同開催）

月	日	場 所	参加者数
9	19	赤坂子ども中高生プラザ アリーナ	7名
9	23	赤坂子ども中高生プラザ アリーナ	7名

4. 防災計画

防災訓練実施報告

月	種類	内 容	備考
4	図上訓練	・防災ビデオの上映と意見交換	
5	避難訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	大地震想定
6	講習会への派遣	・防災研修、救命講習会への派遣	中止
7	消火訓練	・消火器、消火散水栓の使用実施訓練	中止
8	職員防災訓練 通報訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練	中止
9	通報訓練	・緊急災害、救急要請時の災害時伝言ダイヤル訓練	保護者対象
10	避難・通報訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	火災発生想定 合同訓練
11	避難・通報訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	中止
12	不審者対応訓練 避難・通報訓練	・職員研修 ・緊急災害、緊急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	赤坂警察署 Jアラート
1	避難訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	火災時想定 合同訓練
2	避難訓練	・緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難訓練	管理職不在想定
3	火災予防講話	・赤坂消防講師のもとに児童に対して火災予防講話を設定	赤坂消防指導
<p>《その他実施事項》</p> <p>① 日常における操作訓練(スプリンクラー、非常通報装置、火災報知機、初期消火体制等)</p> <p>② 上級救急救命講習への参加</p> <p>③ 職員参集等のためのメール送受信訓練を年1回実施</p> <p>④ 災害時防災協定の継続</p>			

### Ⅲ 港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館運営事業

#### 1. 令和4年度 本館・分館連携事業

令和4年度も、青山館を利用される児童・保護者や地域の方々との交流を深められるよう活動を企画・運営を行いました。

#### (1) 連携事業の主な取組

##### ① 利用者を対象とした主な取組

##### ア、年間行事

月	日	事業名	内容	参加人数
7	29	高学年バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事 (八景島シーパラダイス)	16名
8	26	低学年バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事 (八景島シーパラダイス)	53名
11	1	乳幼児バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事 (砧公園)	親:5名 子:5名
12	4	中高生バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事 (よみうりランド散策)	7名
2	-	中高生音楽表現発表会	中高生による音楽表現活動発表会 (実施する方向で出演者会議は実施)	中止

##### イ、日常活動

対象	事業名	内容	参加人数
小学生	e-スポーツ大会	インターネットを利用した本館とのテレビゲーム交流試合	7名
	ドッジボール交流会	港区ドッジボール大会に向けた、本館との練習試合	23名
	卓球交歓会	本館との卓球交流会	17名
中高生	中高生 e-sports 交流会	インターネットを利用した本館の中高生とのテレビゲーム交流試合	7名
	スタジオレッスン	講師によるダンス、ボイスレッスンを実施した後、参加者同士の交流	中止

## ②職員による取組

### ア、事業運営連携

活動名	内 容	回数	参加人数
ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム(NPプログラム)	子育て中の親のグループワーク(親支援プログラム)のファシリテーターとして、本館職員と分館職員が実施	開催時	中止

### イ、事業連携のためのミーティング

会議名等	内 容	回数	構成
プラザ・青山館連絡会	本館・分館内の運営について等の連絡調整を行いました。	月1回実施	管理職・指導職
行事連絡会	本館・分館連携行事についての連絡調整を行いました。(オンラインも実施)	随時	担当職員
職員研修会	関係機関と児童相談所の連携について等	1回	本館・分館職員

## ③施設・設備を利用した主な取組

### 陶芸作品の窯入れ

本館クラフトルーム内に、陶芸用窯が設置されていることから、分館において実施した陶芸教室作品の窯入れ依頼をいたしました。

## (2)総括

施設間移動を伴う交流として、本館においてドッジボール交流試合を、分館においては卓球バラエティー大会を実施することができました。

施設間移動を伴わない交流としてインターネットを利用した「e スポーツ大会」を今年度も実施し、本館との連携行事を行うことができました。

職員間による交流としては、本館活動に青山館の職員を定期的に派遣、青山館における職員研修会へ本館職員が参加、それぞれの行事に職員を派遣する等、職員間の連携は、今年度も実施することができました。

また、青山館において実施した「陶芸教室」の作品を、本館陶芸窯で焼き上げるなどの連携も実施することができました。

## 2. 児童館事業

### (1) 小学生対象の事業

#### 定期活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	ゲーム大会等	16回	太鼓の達人、バルーン教室、射的、ミニ卓球等を行いました。	171名
図書室	脱出ゲーム	2回	脱出ゲームを楽しみました。	20名
	紙芝居&パネルシアター	1回	パネルシアターの観劇	19名
	月間企画	3回	ビブリオバトル、怖い話、子どもの主張	24名
工作室	陶芸教室	1回	陶芸家の指導の下、皿や器を作りました。	20名
	カリッパクッキング	中止	簡単にできる調理活動 (港区の指導により調理活動は中止)	—
	月間企画	29回	工作など創作活動(スライムづくり、木工教室、クリスマス飾り、おまつり小物づくり等)を行いました。	474名
遊戯室	パルクール	5回	講師指導の下、パルクールを楽しみました。	90名
	月間企画	6回	集団遊びやボール遊びとして(ミニサッカー、風船バレー、居合道等)を行いました。	89名
屋外運動場	ローラーデー	71回	小学生を対象に屋外運動場でローラースケートを行いました。	504名
	月間企画	19回	集団遊びやボール遊び(カリッパプール、長縄、靴飛ばし、リアル野球盤等)を行いました。	186名
その他	伝承遊び	93回	各部屋において、昔ながらの伝承遊び(だるまさんがころんだ、めんこ、ハンカチ落とし等)を楽しみました。	301名
	香りつくマスクスプレーづくり	1回	講師の指導の下、マスクスプレーづくりを楽しみました。	31名
	親子交流企画	3回	落語鑑賞会と親子釣り堀体験ツアーを実施しました。	51名



## (2) 中高生対象の事業(中高生居場所づくり事業)

## 定期活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	AO-Cafe	12回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とが、菓子類や飲料を食べながら語り合い交流する「しゃべり場」(港区の指導により調理活動は中止)	105名
集会室	AO-Game	15回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とがゲームをしながら語り合い交流をしました。	30名
工作室	AO-Cook	中止	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とが、軽食を調理し食しながら語り合い交流をする「しゃべり場」(港区の指導により調理活動は中止)	—
遊戯室	AO-Spo	8回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とでスポーツ交流をしました。	19名

## 特別活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	AO-THEATER	1回	映画等の上映会	0名
中高生ルーム	予約会議	中止	スタジオ利用に関する次月の予約、連絡調整、バンド交流	—
	楽器体験会	3回	ギター、ベース、ドラム、カホン等様々な種類の楽器の体験の場を提供しました。	0名
	バンド総会	1回	バンド同士の交流、より良く利用するための会議	4名
	バンドレッスン	中止	講師による演奏指導	—
	月間企画	5回	カードゲーム、ボードゲーム等の企画を行いました。	13名
その他	館内宿泊	1回	長期休業期間中の宿泊を伴った自主学習支援企画、大学生ボランティア等による学習支援	7名
	ウォーターバトル	2回	屋外運動場において水鉄砲で遊ぶ。	6名
	Teen's Live 出演者会議	中止	本館との連携行事「Teen's Live」開催に向けた出演者会議	0名
	MMM 出演者会議	1回	港区6プラザ合同行事「MMM」開催に向けた出演者会議	1名

(3) 全年齢対象の事業

特別活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
工作室	調理活動クッキング	中止	ランチ作り・おやつ作りなど ※乳幼児を除く。 (港区の指導により調理活動は中止)	—
遊戯室	卓球タイム	45回	小・中・高校生と保護者を対象に、遊戯室で卓球を行いました。	221名
その他	忘れ物展示会	2回	定期的に館内の忘れ物をまとめ、フロント前に展示しました。	多数

3. 「年間行事」

(1) 行事計画に基づく行事

月	乳幼児	小学生	中高生	内容	参加人数
4		おめでとう Welcome カリッパ		小学生の新一年生に対して、スタプラリー、スライム作り、一輪車等、祝福・歓迎する行事	88名
6	あきる野里山体験バスハイク			あきる野市の自然に触れ環境学習を行う行事	34名
7		七夕会		季節の伝統行事を楽しむ行事	23名
		高学年 バスハイク		バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】 (八景島シーパラダイス)	16名
8	キッズ ミニミニ 夏祭り			季節の伝統行事を楽しむ行事	48名
		低学年 バスハイク		バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】 (八景島シーパラダイス)	53名
10		ドッジボ ール大会		港区の児童館が集まって、ドッジボール大会を行う 行事	20名
	みなと区民まつり			芝公園において、工作ブースへの出店協力	多数
	カリッパ子どもまつり			ゲームコーナー、模擬店などを楽しむ行事	430名
11	乳幼児 バスハイク			乳幼児とその保護者を対象に、バスを使用して外 出を楽しむ行事【本館連携】(砦公園)	10名
12			中高生 バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】 (横浜散策)	7名
	カリッパクリスマスパーティー			クリスマス会を楽しむ行事を行った	88名
		児童館交流会		港区の児童館が集まって、活動の成果を発表する 行事	7名
1		新年 子ども会	新年 あけおめ会	新年を祝い、お正月遊びを楽しむ行事として、かるた 大会、羽根つき記録会を実施	小:39名 中高:5名

2		星と月を見る会		講師を招き、星空について学ぶ行事	23名
			中高生音楽表現発表会	中高生による音楽表現活動(バンド・ダンス)の発表を行う行事【本館連携】	中止
3	カリッパランド			パネルシアターの公演を楽しむほか、季節の遊びを楽しむ行事（青山保育園・おはよう保育園参加）	81名
		カリッパ卒業おめでとう会		小・中・高を卒業する子どもたちの成長を祝福する行事	27名

## (2)連携行事

月	乳幼児	小学生	中高生	保護者	連携機関	参加人数
4		交通安全教室			赤坂警察署 (スクールサポーター)	20名
6		茜まつり			赤坂青山共育情報局 赤坂地区総合支所協働推進課	110名
9		交通安全教室			赤坂警察署 (スクールサポーター)	20名
10		遊びの出前講座			青山小学校	名 (職員)
11		港区6館合同LIVE「MMM」 【青山館 世話役】			赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 青山の6施設	1名
			中高生バスケット交流会		赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 青山の6施設	0名
		赤坂・青山 SDGsウィーク 親子交流行事「燻製づくり&ネイチャーゲーム」			北青山まちづくり協議会 青山保育園	28名
12		港区児童館交流会			港区内の12児童館、プラザ	7名
1		遊びの出前講座			青山小学校	5名 (職員)
		中高生フットサル交流会			赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 芝浦、青山の7施設	12名
			プラザカップスポーツ交流		赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 青山の6施設	0名
2		卓球交歓会			赤坂、青山の2施設	17名
		港区小学生フットサル交流大会			赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 青山の6施設	16名
3		火災予防講話			赤坂消防署	21名
		ローラーホッケー大会			港区内の児童館、プラザ	6名

#### 4. クラブ・サークル活動

児童の興味、関心をもとに、学校・年齢を超えたグループによる継続的な活動を目的としました。

##### 定期活動

実施回数	クラブ名	講師指導	内容	参加人数	対象
15回	ドッジボール	×	ドッジボールを楽しむ	291名	小学生
30回	ローラーホッケー	○	ローラースケートでホッケーを楽しむ	440名	小学生
24回	オペレッタ	○	音楽劇を楽しむ	195名	小学生
28回	卓球	○	卓球を楽しむ	207名	小学生
32回	ダンス	○	ダンスを楽しむ	494名	小学生
16回	フットサル	○	フットサルを楽しむ	248名	小学生

##### 体験会

回数	活動名	内容	参加人数	対象
2回	ドッジボール	ドッジボールを楽しむ	25名	小学生
2回	ローラーホッケー	ローラースケートを楽しむ	19名	小学生
1回	オペレッタ	音楽劇を楽しむ	6名	小学生
2回	卓球	卓球を楽しむ	10名	小学生
2回	ダンス	ダンスを楽しむ	24名	小学生
2回	フットサル	フットサルを楽しむ	12名	小学生

##### 特別活動

回数	活動名	内容	参加人数	対象
1回	オペレッタクラブ 上映会	令和3年度のオペレッタクラブ発表会の様子を映像で紹介	13名	小学生
1回	カリッパクラブ 活動発表会	令和3年度の活動成果発表会 (ダンスクラブ、オペレッタクラブ)	57名	クラブ所属児童の 保護者

## 5. 相談活動

青山館には、相談室が設置されることから、児童や保護者が各々抱えている悩み等を気軽に相談できるよう、相談担当職員を選任し、日常的に相談を受け付ける体制を作りました。

また、子育て相談に関して、相談会を開き、相談しやすい環境の整備を計画しました。

職員は、相談を受ける中で児童や保護者の抱える悩みや問題を受け止め、寄り添い、共に考え、問題の解決に向けて支援し虐待などの発見や予防にも留意するとともに、必要に応じ学校や専門機関と連携し、問題解決に取り組むことを目的としました。

このほか、子育ての悩みから中学生・高校生の思春期の悩みといった多様な相談に対応できるよう、職員の資質の向上に努めました。

令和4年度については、子ども家庭支援センター等の専門機関へと連携を要する相談はありませんでした。

【主な相談件数 5件】

種別	主な相談内容	対象
来館	・来館幼児の発育・発達について	保護者(母親)
来館	・来館児童の行動および子育て環境について	保護者(母親)
来館	・来館児童の言動および生活環境について	保護者(母親)
来館	・小学校等における、友だち関係について	小学生
電話	・児童の下校時の生活環境について	保護者(母親)

## 6. 子ども・保護者委員会

児童の視点、利用者の立場に立って運営に取り組むため、児童が気軽に参加し発言できる懇談会を開催しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
1回	本音で語ろう会 (キッズ・保護者)	楽しかったことや、やってほしいこと、キッズグループ活動や館への要望などのアンケートを実施しました。	幼児:27名 保護者:26名	乳幼児～保護者
4回	小学生 カリッパ委員会	児童の悩みを児童がアイデアを出しあって解決に結びつけました。	24名	小学生
3回	中高生 カリッパ委員会	青山館の運営に関する話し合い、活動内容の検討をしました。	22名	中高生

## 7. 国際交流活動

港区内に大使館や外国企業が多く存在するという環境にあることから、児童が広く海外に目を向け、理解を深め、さまざまな国の人たちとの交流ができるようにすることを目的としました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	世界の料理	外国の食文化について知る(食育事業と連携)(港区の指導により調理活動は中止)	—	小学生
1回	世界を学ぶ 世界の遊びを知る	アジア16か国のあいさつ等をクイズ方式で掲示をして紹介しました。この他、館まつりにおいてインドネシアの伝統的な遊び(バンブー・ベラ)を紹介しました。	多数	小学生～中高生

## 8. 高齢者施設等との交流

近隣の高齢者施設等に訪問し、世代間交流ができるよう支援して、高齢者を身近な存在と感じ、敬いやすいやりの気持ちを育むことを目的としました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、港区の指導のもと、施設間移動を伴う活動は中止としました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
1回	児童・高齢交流イベント	北青山高齢者サービスセンターとZOOMを繋ぎ、ゲーム等で交流を行う。	10名	小学生

## 9. 地域の歴史や文化にふれる活動

地域と結びついた児童の健全な育成を図るために、地域と積極的に交流し、地域に開かれた施設を目的としました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
1回	地域懇談会	青山館の事業運営について、来館者数等の報告	23名	地域の方々
2回	ののあおやまプロジェクト	ののあおやまで道づくり工作やグリーンプロジェクトを実施	15名	小学生～保護者
5回	青山探検隊(カリッパ)	カリッパ伝説(4回)	44名	小学生
		「ののあおやま」を訪問し、令和3年度実施鳥の巣箱づくりのその調査【(株)たりたり共催】	6名	小学生、乳幼児とその保護者(祖父母も含む)

## 10. ボランティア活動

地域に根ざした児童館を目指すため、ボランティア担当を配置して、児童のボランティア精神を育み、積極的にボランティア活動を目的としました。青山児童館から継続し、青山学院大学生のボランティアサークルの受け入れを行いました。

また、利用者に港区社会福祉協議会発行のボランティア情報誌の提供等、ボランティアに関する情報提供をしました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
1回	チャレンジ戦隊！ボランティア	港区ボランティアセンター「かంగり」事業(暑中見舞い)のボランティア活動	6名	小学生
6回	それ行け青山子ども会	青山学院大学・部活「青山子ども会」大学生によるボランティア活動	53名	小学生

## 11. 食育活動

「食」に関する知識を育成するため、食育活動を行います。また児童自らが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送れ、「食事の管理能力」を育成することを目的としました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、港区指導のもと、調理を伴う食育活動は中止しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	調理活動	季節の料理等の調理企画	—	乳幼児～保護者
中止	講師活動	講師による調理等の企画	—	乳幼児～保護者

## 12. その他の活動

### (1) 利用者のアンケート及び意見広聴

#### ① 利用者満足度調査

令和4年度は、利用者満足度調査を初めて実施いたしました。調査の概要は以下の通りです。

ア 実施期間 令和5年2月27日～3月10日間

イ 対象世代 乳幼児親子、小学生、中高生、学童クラブ保護者の4区分

ウ 改修状況 107人配布中64人回収

エ 結果分析

内容として、4を最高評価点数として、平均値「重要度3.52」「満足度3.62」と共に高い評価結果が得られました。

オ 自由意見

職員の児童への対応の良さ、安全・安心できる居場所であるとしての評価を頂きました。

一方で、学童保護者より長期休暇中の宅配弁当サービスを取り入れてほしい、館内での飲食解禁を望む声がありました。港区の指針に沿って当館において、工夫をして実現へむけた検討を、次年度への課題としました。

小学生からは、集会室で行っているゲームについての要望が多く「台数の増設」「利用時間の延長」等の記述が目立っていました。こちらについても、小学生カリッパ委員会等を開催し、検討をしていきたいと考えています。

#### ② 意見広聴・アンケート

各部屋、各活動において利用者より意見を募りました。

ア 各室での意見広聴

・乳幼児室:キッズ掲示板 利用者からの悩みや質問を利用者からアドバイスをするコーナーを設置しました。(匿名による質問・回答)

・図書室:購入してほしい書籍などの意見箱を設置しました。

ウ 活動終了後のアンケート

・乳幼児活動後の利用アンケートや、小学生クラブ活動発表会後の参観された保護者からのアンケートを実施しました。

### (2) 苦情対応

令和4年度において、苦情やご意見を受けることはありませんでした。

### (3) 広報活動

ア 青山館「カリッパ」

毎月発行をしている、青山館のお知らせで、乳幼児版、小学生版、中高生版の3種で各月の行事や企画、青山館からのお願い等を掲載しています。青山館の受付窓口にて配布をしたほか、学校・保育園・幼稚園・地域の自治会長・民生児童委員の方等への配布を行いました。

また、本館である「なんで～も」のお知らせ「ステーション」も、受付窓口にて配布いたしました。

#### イ ホームページ

青山館独自のホームページにより、随時、広報活動を行いました。ホームページには、施設の概要や「カリッパ」、新型コロナウイルス感染症対策等の最新情報や緊急連絡事項を掲載し、幅広い対象に青山館をPRいたしました。

また、FACEBOOK ページも開設しており、青山館のカリッパや行事等の報告をいたしました。

#### ウ 『元気です』

社会福祉法人東京聖労院の広報誌として、年3回発行いたしました。

青山館で行われた行事の報告等も掲載いたしました。

#### (4)おもちゃの病院

港区事業として、青山館では年6回(2カ月に1回)、修理の技術をもった専門ドクターが来館し、9:30~15:00 工作室において、治療・昨日を再背していただくことができました。

合計で67件の利用者のおもちゃを修理していただくことができました。

#### (5)学校等との連携

地域の公立小中学校、保育園、幼稚園、等と、情報交換を必要に応じて行いました。

①昨年度の放課G0→クラブあおやま、せいなん 青山地区児童施設情報連絡会から、令和4年度は赤坂・青山地区5施設の情報連絡会を実施いたしました。

青山地区児童施設交流行事1回、赤坂・青山地区児童施設交流行事1回を実施しました。

②参加ができる「学校公開」等にも積極的に参加をし、日頃のコミュニケーションや児童理解に努めたほか、青山小学校では、学校公開事業の一環として、「遊びの出前講座」を依頼され、1年生、2年生の授業の中で、職員を派遣し、伝承遊びや集団遊びを行いました。

青山小学校PTA主催行事への積極的に協力をしました。

③北青山まちづくり協議会、青山保育園とも連携をし、赤坂青山SDGSウィーク「燻製づくり」を共催行事を開催するなど地域との連携を積極的に行いました。

④青山中学校生徒の職場体験の受け入れを行いました。



### Ⅲ 学童クラブ(放課後児童健全育成事業)

#### 1. 学童クラブ事業

##### (1) 運営方針

学童クラブは、放課後、保護を必要とする児童にとって心のよりどころとなり、安心して過ごせる生活の場となるとともに、友だちとの交流やさまざまな遊びを通して児童の可能性を広げ、成長発達に向けて一人ひとりへの細やかな配慮と働きかけを行いつつ、運営を行いました。

また、児童がのびのびと生活し、安心して過ごせる場となるよう、職員との信頼関係の構築や環境整備を行い、児童同士も、お互いが楽しく気持ちよく過ごせるよう、相手を思いやる気持ちを育てるなど、集団生活に必要な成長を促していくよう配慮した運営を行いました。

##### 【対象:学童クラブ在籍児童】

実施回数	活動	12回 内容	参加人数
多数	グループ活動	ののもりや北青山児童公園に、異年齢交流として外遊びを行いました。また、夏には夕焼け散歩も取り入れました。	多数
12回	誕生会	誕生月の児童にインタビューをし、ミニゲームを楽しみました。	537名
1回	新入生歓迎会	青山館の職員と各部屋を紹介し、あそびのルールを説明しました。	13名
1回	外出行事	本館(赤坂子ども中高生プラザなんでも)を訪問しました。	13名
2回	夕涼み会	夏休み中に、保護者サポーターとして保護者の方にご協力いただきながら、夜の青山館でゲームやスイカ割りを楽しみました。	60名
2回	施設交流	赤坂・青山地区の放課 GO クラブと本館(赤坂子ども中高生プラザなんでも)と連携し、宝探しやミニゲームなどを行い児童が交流できるようにしました	34名
11回	クラブランチ	感染症対策を講じ、湯煎できるものなどを活用して学童クラブ室でランチを楽しみました。	418名
1回	年末お楽しみ会	年末にゲーム等のレクリエーションを行いました。	43名
1回	お別れ遠足	年度末にバスを使って遊園地に遠足に行きました。	52名
1回	お別れパーティー	年度末にクラブランチやおやつバイキング、職員とのミニゲームなどを行いました。	45名

##### (2) 家庭との連絡と相談活動

連絡帳や個人面談を通してそれぞれの児童の様子を伝え合い、保護者との信頼、協力関係を築いて、個々の状況や問題に関して、共に考え対応しました。

また、保護者会や親子行事を開催し、同じ環境で子育てをしている保護者同士が交流し合える場を設けるとともに、職員と保護者が協力して児童を育てるという視点から、一緒に児童の成長を見守っていくという姿勢を基本にし、児童の健全育成を目指す立場に立って、必要に応じて専門機関とも連携し、問題の解決を図りました。

【対象:学童クラブ在籍児童の保護者】

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	個人面談	保護者との面談による要望、児童の状況の把握	50名
2回	保護者会	保護者との意見交換・交流を図る	73名
2回	入会説明会	新年度学童クラブ入会対象者の説明会 新規入会者向けに説明会を行いました。 当日都合が合わなかった方に向けて、再説明会を行いました。	33名

【学童クラブ在籍児童・保護者が参加する活動】

実施月	活動	内容	参加人数
1回	館まつり出店	親子が協力し、館まつりで出店しました。	8名
2回	夕涼み会	ミニゲームやスイカ割りなど児童と一緒に夕涼み会を楽しみました。	60名
1回	親子ふれあいイベント	親子で参加できるミニゲームを楽しみました。	38名

(3) 学校等との連携

お便りの交換や、学校の通学路点検に参加、また青山小学校 PTA 行事に積極的に協力参加をしました。また、赤坂・青山地区の学童クラブ連絡会を実施し、「放課GO→クラブあおやま」「放課GO→クラブせいなん」「放課GO→クラブあかさか」本館の「赤坂子ども中高生プラザ」との連携を図りました。学童クラブの児童が個々に抱えている問題に関しては、お互いに情報交換し、多角的な視点で児童を捉えながら、速やかに解決を図っているように努めました。

また、災害や不審者との遭遇などの緊急事態が起きたときの下校時には、学校と密接に連携し、安全に対処できるよう臨機に体制を整備した運営を実施しました。

2. 日常活動報告

来室から帰宅まで、学童クラブ室を拠点に、青山館内の各部屋で自由あそびを楽しむ他、様々な企画やクラブ活動に積極的に参加できるように児童に働きかけを行いました。また、青山館がサードプレイスとして安心して過ごせるように児童の声や姿に寄り添い、相談内容に応じては学校や関係機関に情報提供を行った。赤坂・青山地域の中で児童が育つ環境づくりを目指し、学校や関係機関との連携を図るように努めました。

保護者から相談があった際には、電話での面談も実施し児童の成長を共に見守ってきました。

(1) 日課表

【学校がある日の例】

13:30～	来室 勉強タイム 自由時間
15:00	クルクルタイム (おやつ開始)
15:45	おやつ終了
	順次帰宅
19:00	退室

【学校休業日などの例】

8:00～	来室 勉強タイム 自由時間
12:00	昼食の準備、 お弁当 片付け・休憩
13:00	自由時間
15:00	クルクルタイム (おやつ開始)
15:45	おやつ終了
	順次帰宅
19:00	退室

## (2)おやつを提供

感染症対策として、衝立を設置し、児童が密にならないように着席しおやつが食べられるように工夫をしました。また、前後の手洗いや消毒などの感染対策を徹底して行いました。

保護者から毎月お預かりするおやつ代を使い、毎日午後3時から3時45分の間におやつを提供しました。栄養面として児童が適切なエネルギー補給ができるよう工夫し果物等も積極的に取り入れました。安全面ではアレルギーのある児童も安心して同じものが食べられるように、おやつを購入する段階でアレルギー物質を除いたものを用意するように配慮しました。アレルギー面談を実施し保護者に児童の状況を確認した上で、必要に応じて別のメニューを用意するなど、個別の対応も行いました。

さらに、三期休業中などではスペシャルおやつとして児童のリクエストに応じたものや、人気があるおやつを提供を行いました。月1回のお誕生会の日には、誕生月の児童のリクエストを伺い、児童に喜ばれるよう工夫しました。

## (3)安全の確保

保護者の協力を得ながら、出欠の把握を徹底するとともに、児童に対しても、安全確保の意識が高まるよう、日常的に指導しました。

学童クラブに在籍する児童の居住地域が広範囲に及ぶため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、年間を通じて、30分おきに、職員が付添い、青山通りまでの「送り」を実施しました。

また、これを通して、通学路や下校の仕方についても指導しました。さらに、港区学童クラブ見守りシステム事業の実施要項等にしがたい、適切に運用しました。

## IV 子育てひろば事業

乳幼児とその保護者が共に参加ができ、成長できるような多様な活動を提供しました。  
また、安心して遊びや交流ができる場を提供しました。

### (1)「乳幼児と保護者」対象の事業

#### 定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
35回	りすさんグループ はいはい・よちよちクラス 0歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊び、食育など ・1年を通して参加できる登録者には、出欠ファイルを配布。	H31.4.2 生まれ以降の 乳幼児・保護者	366名
36回	りすさんグループ ねんねクラス 0歳児クラス			297名
38回	こぐまさんグループ 2歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊びなど・登録制で20名定員。	H30.4.2～ R1.4.1 生まれの 乳幼児・保護者	384名
38回	うさぎさんグループ 1歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊び、食育など	H30.4.2～ H31.4.1 生まれ の乳幼児・保護者	88名
10回	カリッパであそぼ 1, 2, 3	楽器遊び、歌遊び、リトミックなど 音楽を主体とした活動	乳幼児・保護者	92名
38回	わいわいクラブ	アスレチック、リズム体操、かけっこ、集団遊び、ふれあい遊びなど	幼児(2歳～5歳程度)・保護者	426名
12回	アトリエカリッパ	幼稚園児対象で、講師を招いた造形・絵画活動	幼稚園児・保護者	80名
208回	カリッパタイム	幼児向けのダンスや読み聞かせ等	乳幼児・保護者	427名
12回	各グループ活動内「水遊び」	「屋外運動場」での水遊び	乳幼児・保護者	201名
77回	コンビカータイム	遊戯室でコンビカーに乗って遊べる行事	乳幼児・保護者	325名

#### 特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
3回	みなと保健所との連携事業	育児相談会	乳幼児・保護者	9名
10回	保育園であそぼう	青山保育園との連携事業 育児相談、パネルシアター等	乳幼児・保護者	61名
2回	遊戯室であそぼう	遊戯室で体を動かす行事	乳幼児・保護者	28名
3回	遊戯室でプラレール	プラレールを楽しむ行事	乳幼児・保護者	69名
4回	手作りおもちゃ	簡単な工作を楽しむ行事	乳幼児・保護者	31名

(2)保護者対象の事業

定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
1回	子育て支援 保護者対象企画	ママカリッパ、ワークタイム	青山館を利用している 乳幼児の保護者	2名

特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
中止	子育て講話	講演会、グループ討論会	乳幼児の保護者	—
1回	講師による企画	保護者対象 ヨガ	乳幼児の保護者	5名
中止	ノーバディーズ・パー フェクト・プログラム	子育て中の親のグループワーク (親支援プログラム)	乳幼児の保護者 (母親)	—
中止	消防署との連携事業	乳幼児の救命救急講習会 (消防署の事情により中止)	乳幼児の保護者	—

## V 令和4年度の事業を振り返って

### 1. プラザの運営

- ・令和4年度新型コロナウイルス感染症対策のため、港区指導により各部屋の定員制や事前予約制などの対策を講じた運営となりました。しかしながら、感染症の状況をみながら、乳幼児室の各利用区分の時間を増やすなど、利用緩和も行いました。
- ・冷水器の使用を一部開始し、直接利用でなく、フロントにおいて貸し出しをしたコップに汲んで飲んでいただく方式での利用としました。
- ・小学生はもとより、乳幼児・中高生の利用も増加しており、令和3年度の利用者数より、年間で上回る来館者数がありました。（資料参照）

### 2. 学童クラブの運営

- ・昨年度までは学年ごとで分けて実施していた誕生会やクリスマスパーティー、年末パーティーなども対策を十分に講じながら、学童クラブ室において学年を分けることなく全員で誕生児のお祝いをし、職員と一緒にミニゲームを楽しみました。
- ・日々のおやつでは、席の間隔をあける、パーティションを用いるなど感染症対策を講じながら提供しました。  
学校長期休業中、手作りでのランチ提供を今年度も控え、近隣の店舗よりお弁当を注文、職員が湯煎をして提供をする「レトルト day」等工夫をし、保護者のお弁当作りの負担軽減を考慮した昼食提供を行いました。保護者のご意見として「レトルト day」は好評を得られることができました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施した「夕涼み会」では、保護者サポーターを募集し、ミニゲームやスイカ割りなどにご協力をいただきながら開催しました。
- ・3月に実施した「おわかれ遠足」では、学童クラブとして初めてアスレチックやアトラクションがある屋外施設に遠足に行きました。バスに乗車する際には、座席を指定して往復同じ場所に座るようにしました。
- ・第2回保護者会では初めて学年で区切らずにご案内をし、多数の方にご参加いただくことができました。また、入会説明会は、土曜日に設定したため、就労している方はご参加できないので、平日の夕方再度入会説明会を実施するなど工夫いたしました。

### 3. 事業・企画の運営体制

- ・令和4年度は、中高生の館内宿泊「AO-Night」の実施、「星と月を見る会」の実施など、新型コロナウイルス感染症対策のため未実施であった行事を実施することができました。
- ・乳幼児活動において、平日のみ活動ではなく、近隣小学校の授業がある土曜日の午前中などに「プラタイム」として遊戯室で実施するなど、時間と場所のタイムシェアをした行事を行いました。
- ・「青山館カリッパこどもまつり」では、午前乳幼児の部を2部、午後小学生以上の部を2部実施しました。定員も昨年度よりは参加人数枠を増数して実施しました。
- ・バスを利用した遠足行事では、本館と連携をした「乳幼児バスハイク」、小学生を対象とした「低学年バスハイク」、「高学年バスハイク」「中学生バスハイク」、「学童クラブお別れ遠足バスハイク」、「あきる野里山体験バスハイク」の6行事を計画通り実施することができました。
- ・港区内児童施設交流行事「ドッジボール選手権大会」「児童館交流会」「Minato Music Mates（中高生バンドフェス）」、「プラザカップ（小学生フットサル・中高生バスケットボール・中高生スポーツ交流）」、「ローラーホッケー交流会」に参加をしました。
- ・地域の方々との交流については、青山保育園と毎月1回「保育園であそぼう」を、「ののあおやま」の方々と「青山探検隊」を、さらに青山保育園・ののあおやまの方々と「赤坂青山SDGsウィーク『燻製を作ろう』」を協力して実施することができました。
- ・本館との連携については、連携行事とした「乳幼児バスハイク」、ドッジボールクラブ交歓会、卓球クラブ交歓試合、乳幼児活動におけるメッセージカードの交換を実施することができた。加えて、それぞれの館の大型行事に職員を派遣等、連携をとった事業運営を行うことができました。

#### 4. 館内外で発生した事故

事故・ケガの発生により、当館職員による適切な対応を行うことができたこともあり、事故・ケガを起因とする苦情等の申し出はありませんでした。加えて保険適用事案もありませんでした。

また、児童等の活動による事故やケガ等が発生しないよう、今後も、より一層の安全・安心に過ごせる青山館を目指した運営を行っていきたいと考えています。

令和4年度発生した事故・事件については、以下の通りです。

##### (1)通院を伴う事故 2件（管理課報告）

###### ① 令和5年3月12日

屋外運動場において、キャッチボールをしていた際、ボールを捕球(受け手側)をする際、右手薬指を突き指。一般利用小学5年男児。保険適用希望なし。

上記の事故を受け、職員の部屋の見守りに際し、児童の遊び方の中には、危険を伴うような行動があることを予見し、事前に指導をすること、また適切な遊び方の指導を行うこととしました。

###### ② 令和5年3月28日

遊戯室において、はさみっこ(ボールの当てっこ遊び)をしていた際、ボールに当たらないように逃げようとして、転倒し顔面を殴打。学童利用小学校1年女児。保険適用希望なし。

上記の事故を受け、職員の部屋の見守りに際し、児童の遊び方の中には、危険を伴うような行動があることを予見し、事前に声かけ、指導をすることとしました。

##### (2)新型コロナウイルス感染症 陽性者報告 26件（支所報告）

利用児童 14件（一般:3件、学童:11件）

職員 12件

※ 新型コロナウイルス感染症に伴うクラスターの発生や、休館となるような事態はありませんでした。

##### (3)その他の事件 3件（赤坂地区総合支所管理課報告）

###### ① 令和4年5月29日

「集会室 港区備品テレビ液晶画面損壊事故について①」一般利用中学3年男児

集会室において、複数の友人らとテレビゲームを行っている際、当該児童がゲームに負けたことから、友人からの煽り言葉を受け、腹をたて、ゲームのコントローラーを液晶画面部分に投げつけ損壊。

主管課へ報告・相談の上、保護者に連絡をいれ、故意による物品損壊であることから、弁償をしていただきました。当該児童へは、「物品を大切に扱うこと」「感情の起伏に任せて危険な行為を行わないこと」の指導をいたしました。

###### ② 令和4年10月23日

「私物カード(ゲーム用)紛失事故について」一般利用小学6年男児

集会室において、複数の友人たちとカードゲームを行った後、当該児童が持参した複数カードの内1箱が紛失したとの申し出がありました。当初は保護者(父親)より、「館内の防犯カメラを確認させて

ほしい」との要望があったが、港区規定により、当館職員が録画映像データを振り返って確認することができないこと、港区への申請が必要なこと等を説明した後、保護者より「大事にしたいくない、当該児童の私物管理の不備もある」との意向により、映像の確認を行わないこと、また職員による館内を捜索し発見した際は連絡をすることで、ご理解を得ることができました。

数日後、保護者(母親)より、父親より同様の要望があり、主管課担当職員へ報告・相談をし、申出者が映像を直接閲覧することは不可能である等、上記同様の対応について再度伝えました。

しかしながら、母親の強い要望もあったことから、再度主管課へ相談し、港区の判断として、「港区と青山館双方の職員が映像を確認し、確認した事実のみの報告」とすることを母親へ伝え、了承を得られました。その後、映像を詳細に確認し、当該児童の物品が紛失した場面が見受けられないこと、防犯カメラで見られない箇所があること等、紛失した事実について確認ができなかったことを申出者である保護者(母親)へ報告のため電話連絡を複数回行いましたが、応答・折り返しがなく、その後の問い合わせもありませんでした。

このことを受け、職員には、各部屋の見守りを行う際、来館児童が持参した私物についての管理をしっかりするように声掛けを行うこと、また、所持者不在の置いたままの私物については、持ち主を探すあるいは事務室にて保管をするように指示をしました。その他、大切なものについては、事務室で預かる等の声掛けおよび注意喚起の掲示をいたしました。

### ③ 令和5年1月24日

「集会室 港区備品テレビ液晶画面損壊事故について②」 学童クラブ小学2年男児

集会室において、複数友人らとテレビゲームを行っている際、当該児童がゲームに負けたことから、腹をたて、液晶画面部分をこぶしで殴り損壊。

主管課へ報告・相談の上、保護者に連絡をいれ、故意による物品損壊であることから、弁償をしていただきました。当該児童へは、「物品を大切に扱うこと」「感情の起伏に任せて危険な行為を行わないこと」の指導をいたしました。また、同年度内2件目の損壊であることから、より頑丈な画面保護ガードを設置いたしました。